

「銀河鉄道 999」50 周年プロジェクト **松本零士展 創作の旅路**

999 号と東京シティビューからの景色が融合するエントランスを公開！
会場構成や 300 点以上の直筆原画など、みどころを紹介

東京シティビュー（六本木ヒルズ森タワー52 階）では、2025 年 6 月 20 日（金）から 9 月 7 日（日）まで、『**「銀河鉄道 999」50 周年プロジェクト 松本零士展 創作の旅路**』を開催します。『銀河鉄道 999』『宇宙海賊キャプテンハーロック』に代表される、数々の名作を生み出した松本零士の没後初となる大型展覧会です。本展では、東京シティビューを舞台に、初期作品を含む 300 点以上の原画や初公開となる資料、貴重な思い出の品々を、壮大な景色とともに楽しみいただけます。漫画とアニメという二つのフィールドで独自の世界観を表現し続けた松本零士のアーティストとしての技術と力、70 年を超える創作活動が未来に託したメッセージを読み解きます。



<『銀河鉄道 999』「出発のバラード」 ©松本零士/零時社・東映アニメーション> ※画像はイメージ

【会場構成・みどころ】

本展は、松本零士の創作の旅路をたどる3つのゾーンで構成されています。デビュー前の作品から代表作の数々に至る、300点以上の直筆原画をはじめ、初公開となる貴重な資料を一堂に展示します。その他にも、執筆で実際に使用していた道具や書籍、インタビュー映像、思い出の品々を通じ、漫画家・松本零士としての歩みはもちろん、漫画だけに留まらない表現者としての軌跡をたどります。

◆エントランス演出『銀河鉄道 999』『出発のバラード』



＜『銀河鉄道 999』『出発のバラード』 ©松本零士／零時社・東映アニメーション＞ ※画像はイメージ

ビル群や東京タワー、東京湾などの景色を望むエントランスでは、『銀河鉄道 999』に登場する駅のプラットフォームと銀河超特急 999 号のモニュメントが来場者をお迎えします。星野鉄郎とメーテルが夢を胸に旅立ったように、ここから松本零士の歩んだ「創作の旅路」が始まります。旅立つ 999 号、会場に流れるあの名曲、そして『銀河鉄道 999』のアニメーションを映し出す大型映像——。海拔 250m に位置する東京シティビューならではの大きな空間で、特別な体験をお楽しみください。

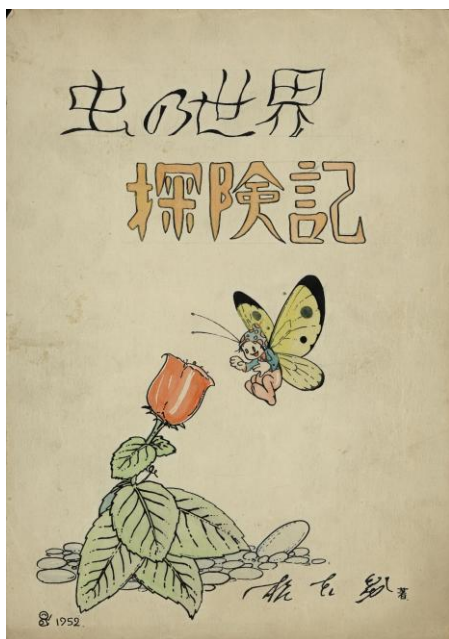
◆ZONE1 歩みを刻む_零士メーター



＜新機軸 『男おいどん』展示イメージ ©松本零士／零時社＞ ※画像はイメージ

松本零士の創作の旅路は、北九州・小倉で漫画家を志した 14 歳の頃の作品『虫の世界探険記』（1952 年）から始まります。夜行汽車で上京し、四畳半の下宿で漫画家としての第一歩を踏み出した初期の少女漫画や、極貧生活の経験から「個性」の大切さを描いた『男おいどん』（1971 年）の原画などを、松本零士が好んで作品に描いた計器「零士メーター」の時の刻みになぞらえて展示いたします。

さらに、初公開となるデビュー当時の貴重な「創作ノート」も公開。子ども時代から抱いていたアニメーション制作への夢が実現した『宇宙戦艦ヤマト』の漫画版原画、世界で愛される『宇宙海賊キャプテンハーロック』の原画や直筆の絵コンテなど、漫画とアニメという二つのフィールドで縦横無尽に活躍した松本零士の創造力の源に迫ります。



『虫の世界探険記』未発表 1952 年
©松本零士／零時社



『男おいどん』「週刊少年マガジン」
1971 年 9 月 26 日号／No.40 (講談社)
©松本零士／零時社



『戦場まんがシリーズ/スタンレーの魔女』
「週刊少年サンデー」 1973 年 11 月 11 日号／No.47 (小学館)
©松本零士／零時社



『宇宙戦艦ヤマト』「冒険王」
1975 年 1 月号 (秋田書店)
©松本零士／零時社

◆ZONE 2 唯一無二の 創作宇宙

松本零士の作品は、生きることの尊さ、命の大切さというテーマを一貫して持っています。代表作である『銀河鉄道999』には、生と死、愛や孤独などといった深い哲学が凝縮されており、唯一無二の“創作宇宙”として私たちに届けられました。

本展では『銀河鉄道999』第1話の貴重な原画をはじめ、「宇宙」「女性」「メカ」といった松本零士の作品を特徴付ける要素が、緻密な描画技術と巧みなストーリー構成によって、どのように形作られていったのかを探ります。

さらに、実際に使用していた画材や参考書籍、そして愛用していた帽子などの思い出の品々を通じて、松本零士の“創作宇宙”を多角的に巡ります。



『銀河鉄道999』『週刊少年キング』

1977年1月24日・31日合併号／No.5・6 (少年画報社)

©松本零士／零時社



『宇宙海賊キャプテンハーロック』『プレイコミック』

1977年4月14日号 (秋田書店)

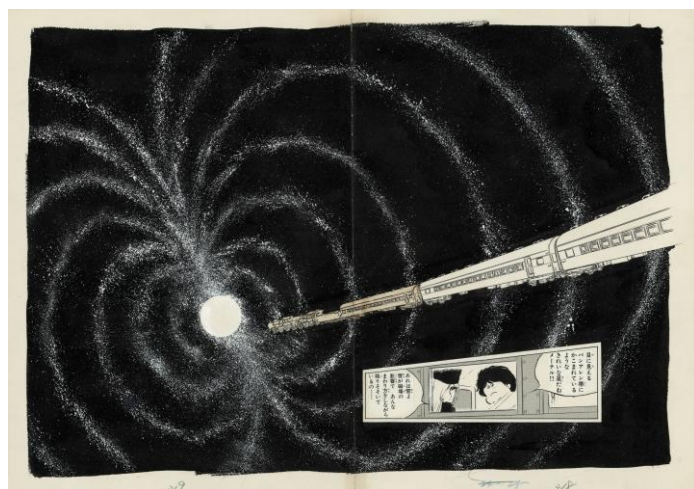
©松本零士／零時社



『セクサロイド』『漫画ゴラク dokuhon』

1970年6月30日号 (日本文芸社)

©松本零士／零時社



『銀河鉄道999』『週刊少年キング』

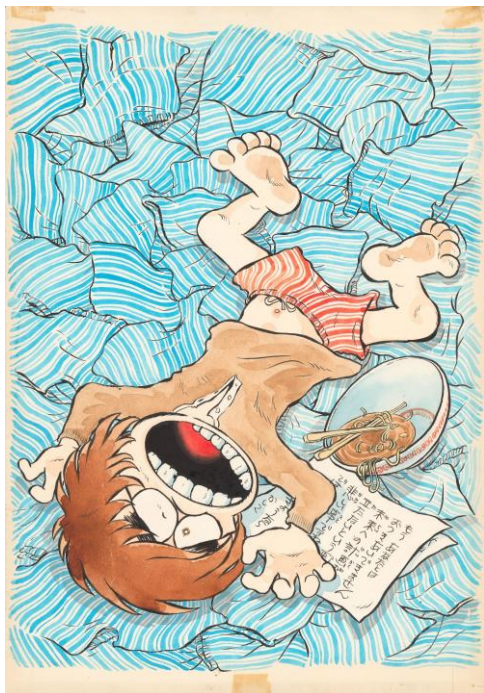
1978年4月24日号／No.18 (少年画報社)

©松本零士／零時社

◆ZONE 3 Artist Leiji Matsumoto

松本零士は、漫画家としてだけでなく、その独創的、芸術的な表現力で知られています。一枚の“絵”だけで表現されるメッセージ、松本零士ならではの世界観、宇宙への憧れ、そして印象的な女性像…。そのすべてが、今なお多くの人々を惹きつけてやみません。

本エリアでは、『男おいどん』『宇宙戦艦ヤマト』『銀河鉄道 999』など、松本零士の代表作を彩る貴重なカラー原画を展示いたします。繊細な筆致と鮮やかな色彩で描かれた作品の数々は、観る者を物語の世界へと誘います。



『男おいどん』「週刊少年マガジン」
1972年3月26日号 / No.14 表紙（講談社）
©松本零士／零時社



『銀河鉄道 999』第7巻カバーイラスト
1978年（少年画報社）
©松本零士／零時社



『宇宙戦艦ヤマト』「冒険王」
1974年11月号（秋田書店）
©松本零士／零時社



『トラジマのミーめ』「プリンセス」
1975年9月号（秋田書店）
©松本零士／零時社

■松本零士展 X 投稿キャンペーンで 15 組 30 名様をご招待！

東京シティビュー公式 X (<https://x.com/tokyo cityview>) をフォローし、「#松本零士展 X 投稿キャンペーン」のハッシュタグをつけて、松本零士作品に登場する「憧れのキャラクター」とその理由を投稿してください。投稿いただいた方の中から抽選で、15 組 30 名様に本展への招待クーポンをプレゼントします！
詳細は、東京シティビュー公式 X をご確認ください。

<応募方法>

- ・東京シティビュー公式 X (<https://x.com/tokyo cityview>) をフォロー
- ・「#松本零士展 X 投稿キャンペーン」のハッシュタグをつけて、松本零士作品の「憧れのキャラクター」とそのキャラクターを選んだ理由を投稿

<応募期間>

2025 年 4 月 17 日（木）～4 月 27 日（日）23:59
※期間は変更となる場合がございます。

<招待クーポン利用期間>

会期中（2025 年 6 月 20 日（金）～9 月 7 日（日））

<当選者発表>

2025 年 5 月中旬

※厳正なる審査の上、ご当選者様の「X」アカウントへのダイレクトメッセージにて 2025 年 5 月中旬に当選通知のご連絡をいたします。

※応募条件など詳細は下記 URL をご確認ください。

<https://tev.roppongihills.com/jp/exhibitions/leiji-m-exh/index.html>

松本零士展 創作の旅路

応募期間：2025年4月17日（木）～4月27日（日）

X 投稿キャンペーン 第1弾！



松本零士先生作品の
「憧れのキャラクター」
を教えてください！

抽選で **30** 名様を
「松本零士展 創作の旅路」に
ご招待

「松本零士展 創作の旅路」
会期：2025年6月20日（金）～9月7日（日）
会場：東京シティビュー
（六本木ヒルズ森タワー52階）

【開催概要】

- ◆展覧会名：「銀河鉄道 999」50 周年プロジェクト 松本零士展 創作の旅路
(英語表記) 「The Galaxy Express 999」50th Anniversary Project Leiji Matsumoto Exhibition -Journey of Creation
- ◆会 期：2025 年 6 月 20 日(金)～9 月 7 日(日)
- ◆会 場：東京シティビュー (東京都港区六本木 6-10-1 六本木ヒルズ森タワー52 階)
- ◆開館時間：未定
- ◆入館料：未定
- ◆主催：東京シティビュー
- ◆特別協力：零時社
- ◆企画制作：東映、東映アニメーション
- ◆監 修：表 智之 (北九州市漫画ミュージアム)
- ◆後 援：J-WAVE、TOKYO MX
- ◆公式サイト：<https://leiji-m-exh.jp>
- ◆公式 SNS (X)：@leiji_m_ex (https://x.com/leiji_m_ex)
- ◆問い合わせ：東京シティビュー 03-6406-6652 (受付時間 10:00～20:00)
※その他の詳細情報は、順次公開予定です。

<巡回展情報>

北九州会場：北九州市漫画ミュージアム／会期：2025 年 9 月 27 日(土)～1 月 12 日(月祝)

◆問い合わせ TEL：093-512-5077 代表：manga@city.kitakyushu.lg.jp

※本展覧会に関する情報は、予告なく変更になる場合があります。

【本展に関する記事・報道のお問い合わせ】

「松本零士展」広報事務局 (共同ピーアール内)

担当：村上、幡井、安田、菅原

TEL：03-6264-2059 (広報事務局代表)、
090 - 5553 - 2117 (村上)、090-7909-5164 (安田)

Email：matsumotoleiji-ten-pr@kyodo-pr.co.jp